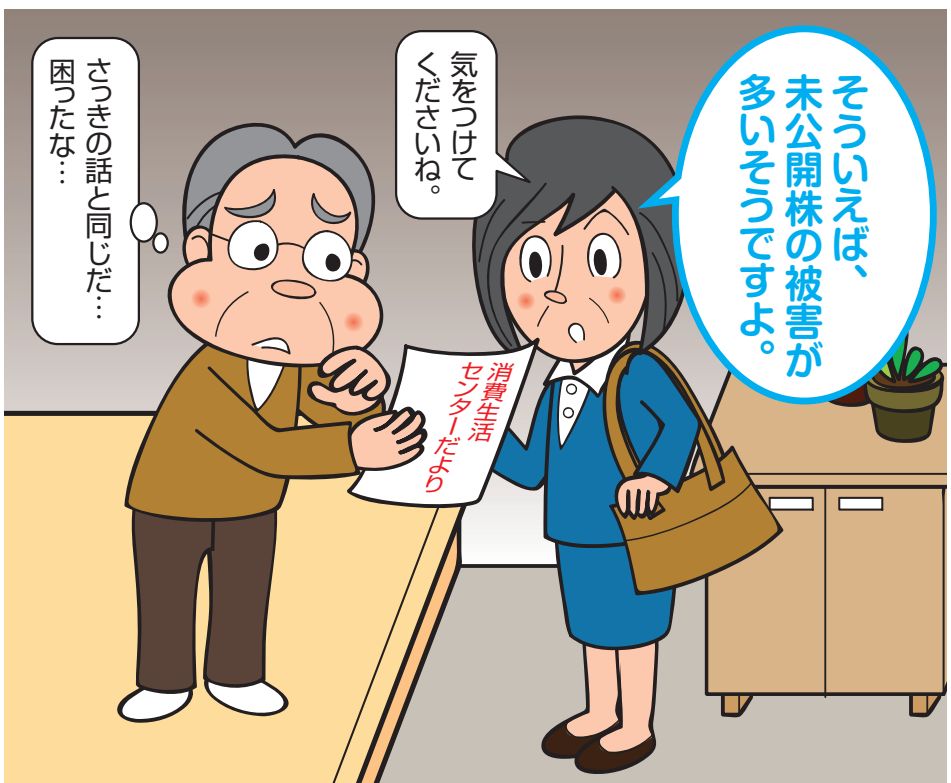
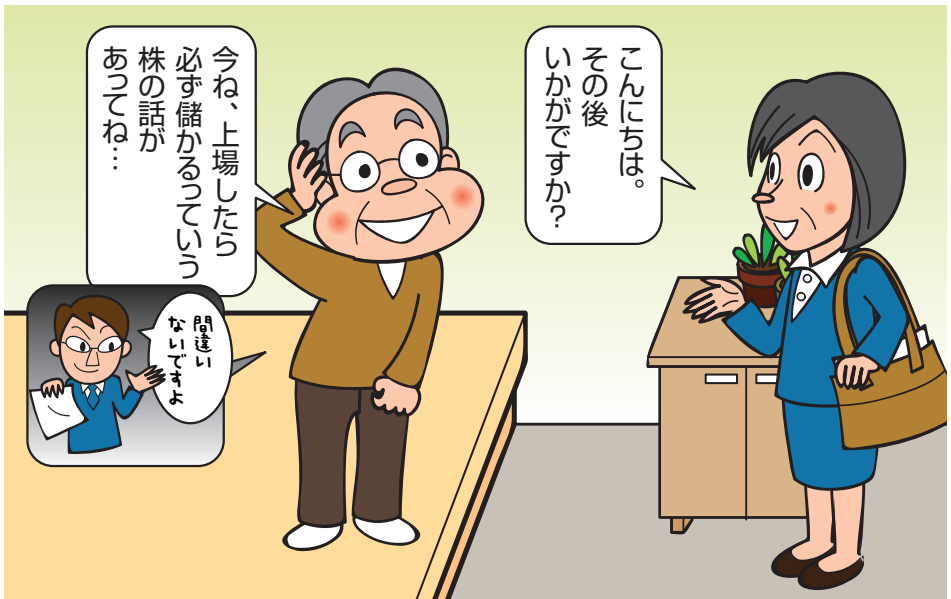


事例②

地域の消費生活センターの
チラシを話題にしたなら…



民生委員
山川幸子さん(仮名)



坂上さん(仮名72歳男性)のお宅を訪問したときのことです。私が玄関のチャイムを鳴らすと、中からアタッシュケースを下げた見慣れないスーツ姿の若い男性が出てきて、すれ違いざまに「びっくりするようになりました。いつもこのように坂上さんと世間話をしながら、私は地域の消費生活センターから配布されたチラシを話題にしました。未公開株の被害が多いという内容でした。ちらしを見た坂上さんの様子がいつもと違つて感じたので、心配なことがあれば消費生活センターに相談するように勧めました。

気づきと対応のポイント

- ①「上場附近と勧誘され購入したが、まだ上場しない」などの未公開株トラブルは、手口が巧妙化しているため、被害に気づきにくくなっています。
- ②口頃から地域で起きている最新の被害情報にアンテナを張り、訪問時の話題にしていただく。客観的な情報提供で被害に気づく場合があります。
- ③おかしいと思った時には、家族や地域の消費生活センターに相談するよう勧めてください。また、一度被害にあった高齢者は再度狙われる可能性がありますので、引きつづき見守りをお願いいたします。

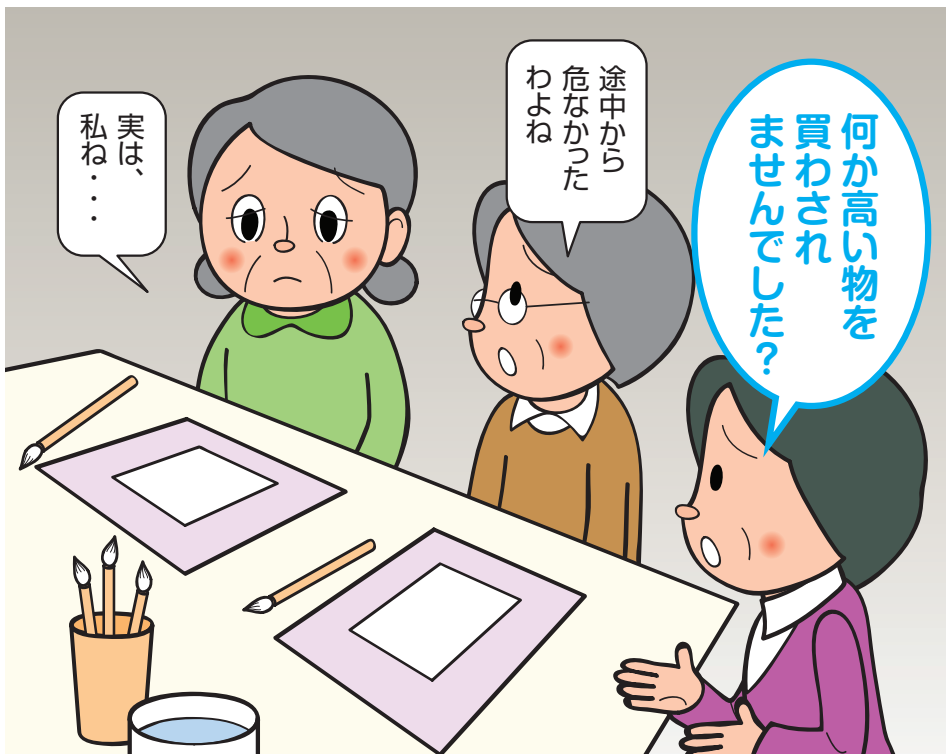
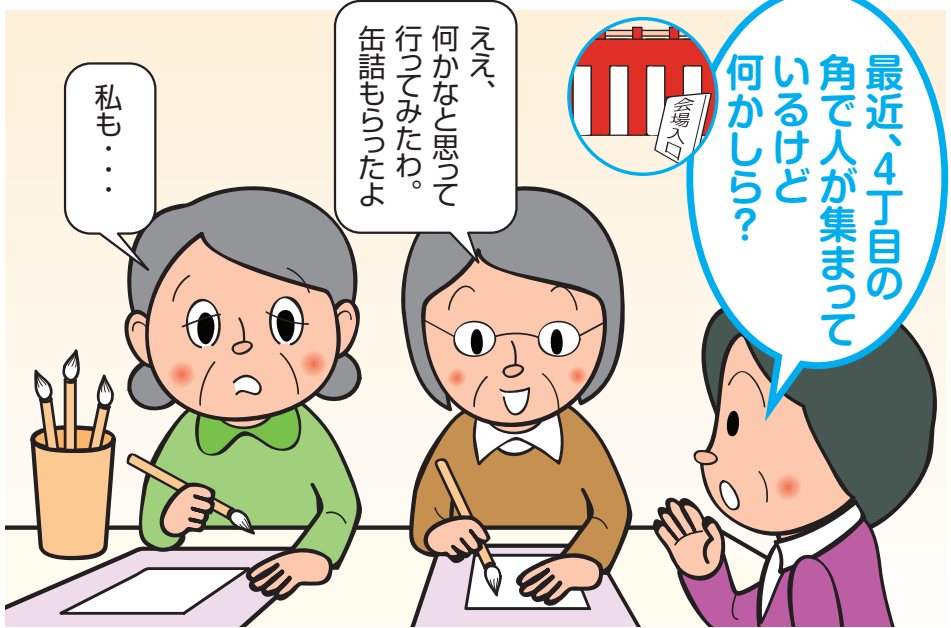
↓ 18 ページ

事例③

ふれあい・いきいきサロン
での会話から…



民生委員
田中好子さん(仮名)



社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロンで、最近この地域にやってきた業者を話題にしてみました。会場に人を集めて無料で日用品を配っているようです。ご夫婦で暮らす遠藤さん(仮名73歳女性)が、興奮状態の会場で70万円の磁気マットレスを購入してしまうと打ち明けてくれました。
ご本人に確認しましたら、解約したいとのこと。一人で相談に行くのは不安だとおっしゃるので、私が付き添って消費生活センターへ行きました。

気づきと対応のポイント

- ①催眠(SF)商法と呼ばれる手口です。冷静になってはじめて失敗に気づきます。落胆の表情が見られる方には、やさしく声をかけてください。
- ②いそいそと楽しそうに出かける回数が増えた時には、定期的に業者のところへ出かけている可能性もあります。タイミングをみて声をかけてください。
- ③日常的な会話の中で、近所でおきたトラブル事例を紹介すると効果的です。口頃から消費生活センター等の情報に注意しておきましょう。